

## 平成 21 年度学生懇談会実施報告書（蔵本分館）

### 1 趣旨

徳島大学附属図書館の利用者（学生）ニーズ把握のために、学生懇談会を開催した。今年度は本館と分館で実施し、図書館に対する意見や感想を求めた。対象者は蔵本地区の学部生、大学院生で、8名参加した。

### 2 日時・会場

平成 21 年 12 月 14 日（月）17：00～18：00

蔵本分館 1 階会議室

### 3 出席者

学生側：8名

医学部 6 名

（医学科 3，4 年，栄養学科 D1，D2，保健学科 2，3 年 各 1 名）

歯学部 1 名（6 年）

薬学部 1 名（1 年）

図書館側：7 名

分館長、情報部長、学術情報マネジメント課長、学術情報サービス課長、分館資料情報係長、分館利用支援係長、ラーニングcommons検討WG（川上係員・記録）

### 4 配布資料

- ・先に行った利用者アンケートのダイジェスト版
- ・分館懇談会用アンケートまとめ

### 5 懇談会概略

福井分館長の挨拶後、学術情報サービス課長から図書館員を紹介、出席学生が自己紹介をした。その後まず、ラーニングcommons検討WGから利用者アンケートの結果について説明を行ったあと、アンケートと懇談会の事前調査で要望のあった点について、学術情報サービス課長から説明を行った。

電子ジャーナルをもっと充実して欲しいという要望については、多くの予算がかかるためできる範囲で努力していると伝えた。アンケートで希望の多い新しい図書については、学長裁量経費によってブックハンティングなどを行って学生用図書の充実に努めていることを説明した。分館資料情報係長からは、学生によるカタログ選書を実施したことについて説明した。時間外利用の際の冷暖房については従来から希望があり、今回も場所・時間を限定しても良いので実現してもらいたいという要望があったので、部屋を限定して行う方向で前向きに検討していることを伝えた。またアンケートの際に指摘の多かった 2 階のトイレについて、光触媒の塗布を行ったところだという説明をした。

その後ブックハンティングについての話題から、図書館でブックハンティングの参加募集が

行われているといった広報を、どのようにすれば伝わりやすく、参加してもらいやすいかという質問が情報部長からあった。広報については、掲示板よりはメールのほうが読むという意見、逆にメーリングリストだとあまり読まれないという意見もあった。また応募のメールや掲示を見ても積極的に参加しようと思う人は少ないので、ランダムに人を選んで参加してもらえませんかと直接的に尋ねたり、何人集めて欲しいという依頼を学生総代にして、学生側で人数を確保したりの方が確実だと思えるという意見もあがった。保健学科の学生からは、図書館が遠くて図書館に行く機会が少ないので、学科の自習スペースに図書館の広報を貼れば見るかもしれないということだった。

ブックハンティングについては他に、欲しいジャンルは分かってもどの本がいいのか判断しかねるので、教員と一緒に参加してくれると良いといった意見、大学院生からは、図書を利用するのは学部生が多いので学部生だけの応募でもよいのではという意見もあがった。

図書館の蔵書については、歯学部、栄養学科の学生から、各分野の専門図書が足りないという意見があった。歯学部の学生からは、調べたいときに新しい専門図書がないので、結局教授に聞きに行くことになるという話があった。保健学科の放射線専攻の学生からは、工学系の分野の図書が必要なことが多く、常三島の所蔵のことが多いのですぐに入手できず困るとのことだった。

学習に関する要望については、改めて時間外の冷暖房について要望があり、図書館としてできる限りのことはすると回答した。

